

平成 25 年度  
運営に関する計画  
(中間評価)

平成 25 年 10 月

大阪市立上福島小学校

大阪市立上福島小学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)  
中間評価

1 学校運営の中期目標

たくましく、心豊かに、実行力のある児童の育成を図る。

知…自ら深く考える子

徳…明るく思いやりのある子、認め合い支えあう子

体…ねばり強く、たくましい子

2 中期目標の達成に向けた年度目標

特色ある学校づくりを組織的に進め、活力のある学校にする。

【視点 学力の向上】

基礎的な・基本的な学力を高め、自ら進んで学ぶ子どもを育てる。

【視点 道徳心・社会性の育成】

豊かに感じて判断し、相手の立場を考えて行動する子どもを育てる。

【視点 健康・体力の向上】

健康に関心を持ち、望ましい基本的な生活習慣を自ら実践できる子どもを育てる。

【視点 学校・家庭・地域との連携の推進】

学校・家庭・地域とのかかわりを深める。

3 中間評価の総括

各視点において、達成状況は概ね目標に到達しているといえる。中間段階での数値では、若干昨年度末の数値よりポイントが下がっている視点もあり、その結果の分析は必要である。

道徳心・社会性の育成においては、道徳教育の推進に関する取り組み内容①と②において下がっている。①の相手の立場を考えて、行動することができるでは、道徳の授業を工夫することを中心に、日々の児童への働きかけが大切であると考え。目に見える成果を求めることが難しい面はあるが、児童の言動からしっかり見取っていけるよう、指導者側が共通の観点をもち徹底した指導及び取り組みを進めていく。また、②の進んであいさつや返事をするのできるでは、登校時のあいさつにおいて、看護当番の教職員や管理職からも意識を高める声掛けを継続すると同時に、児童会でもあいさつ週間を増やすなどの取り組みを進めていく。

健康・体力の向上においては、食育に関する取り組み内容③と④において下がっている。年度末での数値と中間での数値なので児童の意識の高まりを考えたとき、一概に下がっているという捉えはできないと考える。特に③の食育を推進するでは、89ポイントとほぼ9割の肯定的な回答を得ているので、決して低い数値ではないと考える。後期も、これまでと同様に、毎日食育通信、上福なかよし畑での活動、様々な果樹の収穫などを中心に取り組みをより充実し、さらに、児童への意識づけや、興味、関心を高めていくことができるよう働きかけていく。

今回の中間評価に向けたアンケート結果で数値として現れなかったのは、アンケート項目の内容が児童にとってわかりにくい言葉であったり、取り組み内容とずれがあったりしたことも原因の一つであると考え。今後、質問内容も検討改善していきたいと考える。

大阪市立上福島小学校 平成 25 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）  
中間評価

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 学力の向上】 基礎的・基本的な学力を高め、自ら進んで学ぶ子どもを育てる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【各教科】 子ども自ら学習課題を解決することができるような指導をする。 指標 本校教育アンケート「課題を意識して、進んで調べたり、考えたり、観察・見学したりしている。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。 69%⇒74%	B
取組内容②【言語力や論理的思考力の育成】 授業や学校生活の様々な場面で、しっかり聞いて発表させる。 指標 本校教育アンケート「人の話をしっかり聞き、みんなの前で発表している。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。 69%⇒72%	B
取組内容③【国語、算数】 漢字や計算の力を伸ばす。 指標 本校教育アンケート「音読や漢字、計算をほとんど毎日練習している。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。上福タイムを活用する。 67%⇒73%	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>①わかりやすい課題の提示、問題解決学習の流れをつかませること、体験的な学習を大事にすることなどの指導により、児童は、学習課題に意欲的に取り組み、解決できるようになった。また、習熟度少人数指導や区役所サポート事業、教育活動支援員により、個に応じた指導の充実を図っている。</p> <p>②話の聞き方について、各場面でその都度指導してきたので、児童は以前よりも話に耳を傾けるようになり、うなずいたり、ハンドサインで意思表示したりするようになった。話したり、発表したりする機会を大切にしているので、児童の話す・発表する力はついている。特に道徳の学習場面では、役割演技や動作化などを取り入れ、工夫を進めている。</p> <p>③家庭学習として、毎日、音読・算数・漢字の課題を出している。上福タイムでは、ドリルやプリント（Web 問題データベースの活用も含む）を使った学習をしている。以上の結果、「音読・漢字・計算」の学習習慣が身に付いてきた。</p>	
後期への改善点	
<p>①児童が「わかった」という実感が持てるよう、自己評価の仕方を充実し、その時間のまとめをする。</p> <p>②返事やうなずきなど、聞き方の指導を更にすすめる。また、話し手に対して、自分の感想を言ったり質問したりしながら応答的な対応を指導していく。</p> <p>③家庭学習や上福タイムで、プリント（Web 問題データベースの活用も含む）などの活用も図り、更に学習の習慣をつけていく。</p>	

大阪市立上福島小学校 平成 25 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）  
中間評価

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 道徳心・社会性の育成】 豊かに感じて判断し、相手の立場を考えて行動する子どもを育てる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【道徳教育の推進】 相手の立場を考えて、行動することができる。 指標 本校教育アンケート「友だちに、やさしいことばをかけた、親切にしたりするよう心がけている。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。 80%⇒73%	B
取組内容②【道徳教育の推進】 進んであいさつや返事をするすることができる。 指標 本校教育アンケート「すすんで元気よくあいさつをしている。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。 84%⇒75%	C
取組内容③【その他】 物を大切にすることができる。 指標 落とし物（持ち主不明）の数を減らす。本校教育アンケート「学校のを大切にしている。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。 88%⇒89%	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 道徳や日常生活の様々な場面で友だちとのかかわり方や親切について話をし、取り組みを積んできた。友だちへの優しい言葉や親切にする気持ちに少しずつつながってきているが、実際に行動に移すには至っていない子もいる。</p> <p>② 児童会の取り組みや日々の学級活動であいさつの意識は高まってきた。教室や廊下での朝や帰りのあいさつは、元気にできてきた。</p> <p>③ 記名の日を設けて、持ち物に名前を書く意識は高まってきたので、落とし物の数は減ってきた。</p>	
後期への改善点	
<p>① より自分の生活を振り返ることのできる道徳の授業を工夫する。</p> <p>② 登校時のあいさつ指導の仕方を考える。</p> <p>③ 毎月初めの「記名の日」を継続指導する。また、週目標で、物を大切にしようとする意識をもたせるようにする。</p>	

大阪市立上福島小学校 平成 25 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）  
中間評価

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 健康・体力の向上】 健康に関心を持ち、望ましい基本的な生活習慣を自ら実践できる子どもを育てる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【健康な生活習慣の確立】 規則正しい生活を心がける。 指標 本校教育アンケート「家では、早寝、早起き、朝ごはんを心がけている。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。 79%⇒78%	B
取組内容②【体力向上への支援】 自分の体力を知り、さまざまな運動に取り組む。 指標 本校教育アンケート「外で元気よく遊んでいる。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。 85%⇒85%	B
取組内容③【食育】 教育活動全体を通して、食育を推進する。 指標 本校教育アンケート「食べ物が健康に大事だと感じている。」の肯定的な割合を維持していく。 95%⇒89%	B
取組内容④【食育】 収穫を喜び合い、自然の恵みに感謝することができる。 指標 本校教育アンケート「身の回りの自然に興味をもっている。」の肯定的な割合を昨年度より上げる。すすんで栽培活動に取り組むことができる。 81%⇒73%	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① 学校保健委員会（家庭すこやか会議）や健康委員会の呼びかけ、保健・食育だより、生活ふり返りシートの活用など、規則正しい生活（「早寝・早起き・朝ごはん」）を心がけようとしている。
- ② 学級の「みんな遊び」や「がんばりカード」、運動委員会の放送での呼びかけで、外で元気よく遊ぶ児童は増えている。
- ③ 毎日の食育通信や食育だよりを活用したり、各教科と関連した食育の実践をしたりして、食べ物について興味をもち、食べ物が健康に大事だと感じることができている。
- ④ 上福なかよし畑や学習園での野菜の栽培や収穫、校庭の果物の収穫を通し、自然の恵みを実感し感謝するようになってきている。

後期への改善点

- ① 毎月の生活ふり返り週間などを通して、引き続き規則正しい生活を心がけ実践できるよう、家庭との連携も図りながら声かけをしていく。
- ② これから寒い時期になると外で遊ぶ児童も減ってくると思われるので、今後も、学級での「みんな遊び」や放送での呼びかけなどをして、外で元気よく遊ぶように促していく。
- ③ 引き続き、日々の食育通信を活用して、食育の推進を図っていく。
- ④ 今後も、児童が継続して、すすんで栽培活動に取り組めるよう工夫していく。

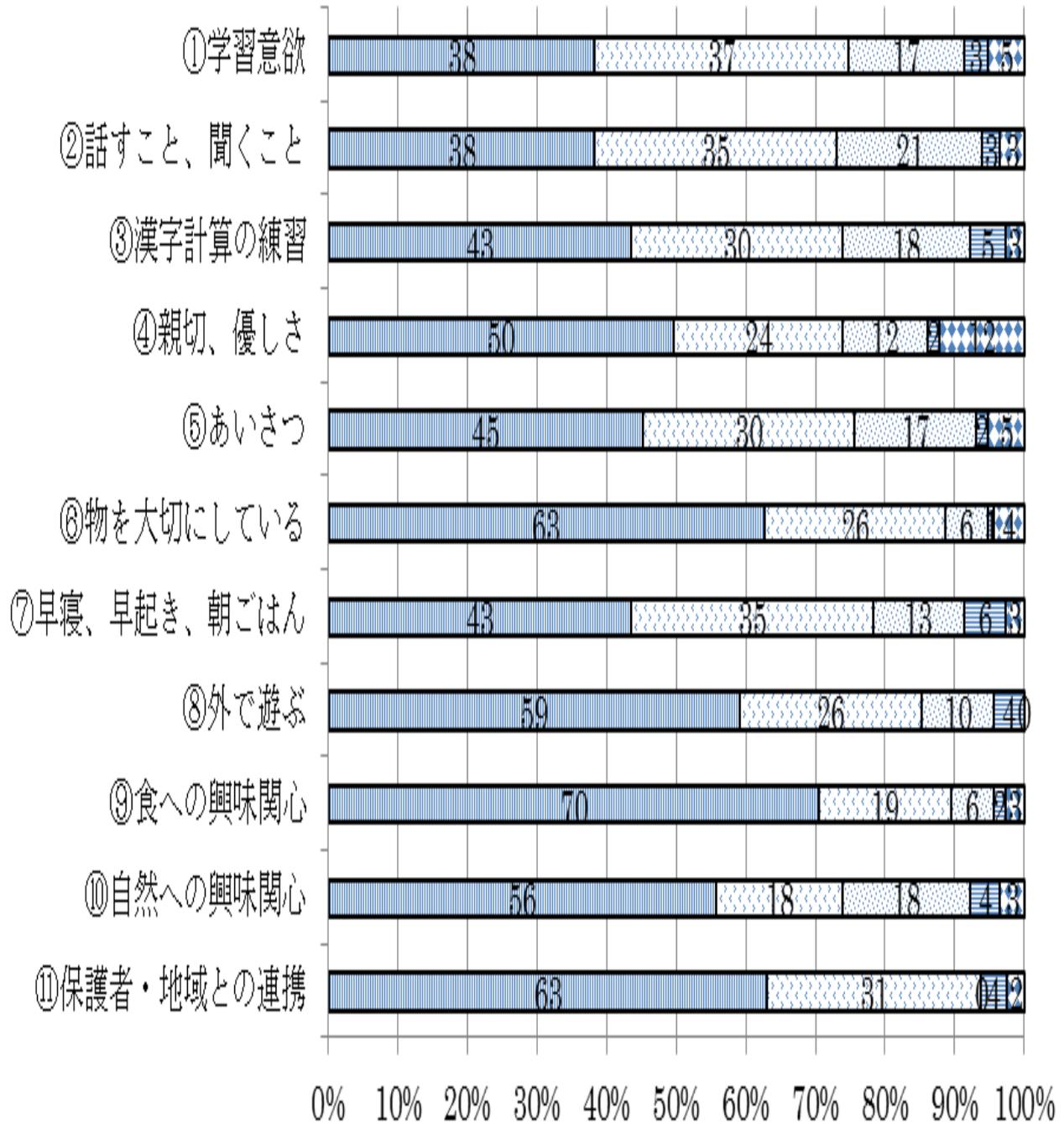
大阪市立上福島小学校 平成 25 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）  
中間評価

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 学校・家庭・地域との連携の推進】 学校・家庭・地域とのかかわりを深める。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【家庭・地域との連携】 学校行事の公開や、絵手紙づくり・花植え・茶道体験など地域の方々との体験活動、ミニスポーツ大会・もちつき大会など P T A 行事、ソフト・キック・和太鼓など地域の活動を通して、「上福の子」を育む。	B
指標 本校教育アンケート（保護者）「学校は、P T A や地域の方々と協力し、子どもを育てようとしている。」の肯定的な割合を維持していく。 92%⇒94%	
取組内容②【学校評価】 自己評価・教育アンケート・学校関係者評価など学校評価結果をもとに、学校運営の改善に取り組む。	B
指標 よりよい「上福島小学校」にするため、校内体制を整え、具体的に改善に取り組む。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>①学習参観（運動会を含む）などにより、児童の様子を見てもらっている。家庭訪問・連絡帳・電話などにより、児童の様子について連絡を取り合っている。ホームページの「学校日記」「毎日食育通信」などにより、児童の様子を素早く具体的に紹介している。一方、ソフト・キック・和太鼓の地域活動、P T A によるミニスポーツ大会やラジオ体操、運動会での支援・協力などを通して、児童は様々な体験を積み重ね、また支えられていることに気づいている。</p> <p>②第 1 回学校協議会（5 月）で「運営に関する計画」について審議、補い（【学校・家庭・地域との連携の推進】の追加）をしていただいた。前期アンケート（児童 10 項目、保護者 1 項目）や、運動会アンケートを元に、後期の教育活動を具体的に改善しようとしている。</p>	
後期への改善点	
<p>①後期には、地域の方とのふれあい活動、土曜授業（防災訓練・学習発表会・上福ふれあい祭り）、P T A もちつき大会がある。児童がこれらの活動を通して、お家の方や地域の方に支えられていることを実感していけるよう、場の設定を工夫する。また、ホームページで、児童の活動の様子を継続発信する。</p> <p>②前期のアンケート結果や学校協議会での審議をもとに、改善できることを具体的に挙げて取り組む。</p>	

# 平成25年度上福島小学校の教育アンケート（前期） 結果



はい
 
 どちらかといえばそう思う
 
 あまりそう思わない
 
 いいえ
 
 わからない